

子供を薬物乱用の危険から未然に防ぐためには…

子供の変化を見逃さないよう、保護者が日々注意深く見守ることが大切です。子供が自分自身を大切に、悪い誘いを寄せ付けない、誘われても断れる自信を育みましょう！
そして、危険な場所に近づかせず、もし危険を感じたら、すぐに逃げるように教えてください。



様子がおかしいと思ったら…
手遅れになる前に相談を!
専門家が秘密厳守で相談のつてくれます。



薬物について相談できる窓口があります。

北海道	北海道立精神保健福祉センター 札幌こころのセンター	☎011-864-7121 ☎011-622-0556	愛知県	愛知県精神保健福祉センター 名古屋市精神保健福祉センター	☎052-962-5377 ☎052-483-2095
青森県	青森県立精神保健福祉センター	☎017-787-3951	三重県	三重県こころの健康センター	☎059-223-5241
岩手県	岩手県精神保健福祉センター	☎019-629-9617	滋賀県	滋賀県立精神保健福祉センター	☎077-567-5010
宮城県	宮城県精神保健福祉センター	☎0229-23-0021	京都府	京都府精神保健福祉総合センター 京都市こころの健康増進センター	☎075-641-1810 ☎075-314-0355
仙台市	仙台市精神保健福祉総合センター	☎022-265-2191	大阪府	大阪府こころの健康総合センター 大阪市こころの健康センター	☎06-6691-2811 ☎06-6922-8520
秋田県	秋田県精神保健福祉センター	☎018-831-3946	堺市	堺市こころの健康センター	☎072-245-9192
山形県	山形県精神保健福祉センター	☎023-624-1217	兵庫県	兵庫県精神保健福祉センター 神戸市こころの健康センター	☎078-252-4980 ☎078-371-1900
福島県	福島県精神保健福祉センター	☎024-535-3556	奈良県	奈良県精神保健福祉センター	☎0744-47-2251
茨城県	茨城県精神保健福祉センター	☎029-243-2870	和歌山県	和歌山県精神保健福祉センター	☎073-435-5194
栃木県	栃木県精神保健福祉センター	☎028-673-8785	鳥取県	鳥取県立精神保健福祉センター	☎0857-21-3031
群馬県	群馬県こころの健康センター	☎027-263-1166	島根県	島根県立心と体の相談センター	☎0852-21-2885
埼玉県	埼玉県精神保健福祉センター	☎048-723-3333	岡山県	岡山県精神保健福祉センター 岡山市こころの健康センター	☎086-201-0850 ☎086-803-1273
さいたま市	さいたま市こころの健康センター	☎048-851-5665	広島県	広島県立総合精神保健福祉センター 広島市精神保健福祉センター	☎082-884-1051 ☎082-245-7746
千葉県	千葉県精神保健福祉センター 千葉市こころの健康センター	☎043-263-3891 ☎043-204-1582	山口県	山口県精神保健福祉センター	☎0835-27-3480
東京都	東京都立中部総合精神保健福祉センター 東京都立多摩総合精神保健福祉センター 東京都立精神保健福祉センター	☎03-3302-7575 ☎042-376-1111 ☎03-3834-4102	徳島県	徳島県精神保健福祉センター	☎088-625-0610
神奈川県	神奈川県精神保健福祉センター 横浜市こころの健康相談センター 川崎市精神保健福祉センター 相模原市精神保健福祉センター	☎045-821-8822 ☎045-671-4455 ☎044-200-3195 ☎042-769-9818	香川県	香川県精神保健福祉センター	☎087-804-5565
新潟県	新潟県精神保健福祉センター 新潟市こころの健康センター	☎025-280-0111 ☎025-232-5560	愛媛県	愛媛県心と体の健康センター	☎089-911-3880
富山県	富山県心の健康センター	☎076-428-1511	高知県	高知県立精神保健福祉センター	☎088-821-4966
石川県	石川県こころの健康センター	☎076-238-5761	福岡県	福岡県精神保健福祉センター 福岡市精神保健福祉センター 北九州市立精神保健福祉センター	☎092-582-7500 ☎092-737-8825 ☎093-522-8729
福井県	福井県総合福祉相談所	☎0776-24-7311	佐賀県	佐賀県精神保健福祉センター	☎0952-73-5060
山梨県	山梨県立精神保健福祉センター	☎055-254-8644	長崎県	長崎子ども・女性・障害者支援センター	☎095-844-5132
長野県	長野県精神保健福祉センター	☎026-227-1810	熊本県	熊本県精神保健福祉センター 熊本市こころの健康センター	☎096-386-1255 ☎096-362-8100
岐阜県	岐阜県精神保健福祉センター	☎058-231-9724	大分県	大分県こころからの相談支援センター	☎097-541-5276
静岡県	静岡県精神保健福祉センター 静岡市こころの健康センター	☎054-286-9245 ☎054-262-3011	宮崎県	宮崎県精神保健福祉センター	☎0985-27-5663
浜松市	浜松市精神保健福祉センター	☎053-457-2709	鹿児島県	鹿児島県精神保健福祉センター	☎099-218-4755
			沖縄県	沖縄県立総合精神保健福祉センター	☎098-888-1443

他にも、各地方厚生局麻薬取締部、各都道府県(薬務主管課)、保健所、警察署でも相談を受け付けています。

保護者のみなさまへ

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

今や薬物乱用の危険は、非行傾向のある子に限らず、すべての子供たちに迫っています。
日頃から子供たちの行動について保護者が注意して見ていることが必要です。

子供を薬物乱用から守る チェックポイント

あなたの子供を取り巻く環境について

- 子供にスマートフォンや携帯電話を持たせている。
- 子供にインターネットにいつでも接続できるPCを使わせている。
- 子供が中学生・高校生と遊ぶことがある。もしくは、友達関係がよく分からない。

あなたの子供自身について

- 帰宅が遅くなることが多くなった。
- 理由の分からないお金を欲しがるようになった。
- 食事を家族と一緒に食べなくなった。
- 目を合わせて会話をしなくなった。

1つでも☑があれば**注意してください。**

子供のまわりには 危険がいっぱい!

危険な誘いは、あの手この手で子供たちを脅かします。
今の子供はスマートフォンやパソコンが身近にあります。
インターネットさえつながれば、危険な薬物は簡単に入手できてしまうのです。



要注意!

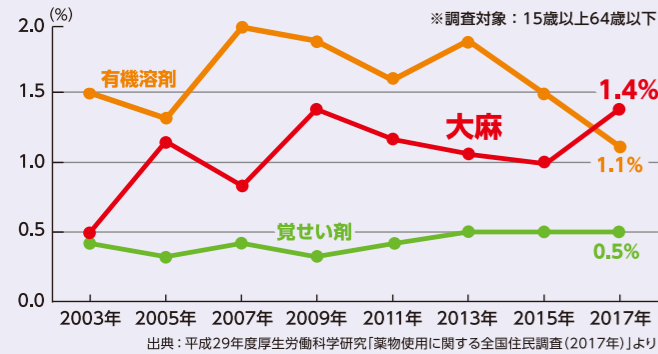
薬物使用の低年齢化が進んでいます

大麻の誘い、使用経験が急増中。

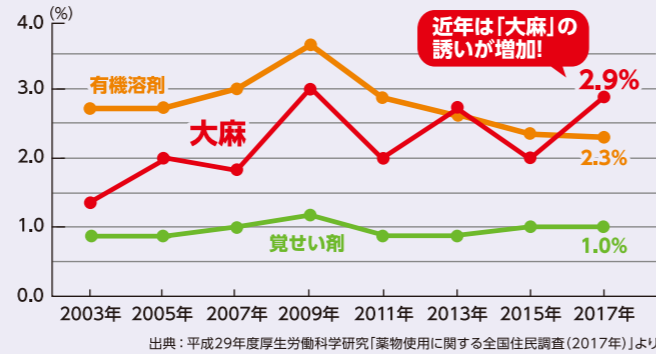
日本は、国際的には薬物乱用の少ない国と言われていますが、2017年度に行われた薬物使用に関する全国住民調査により、これまでに何らかの薬物乱用を経験した人が少なくとも約200万人以上いることがわかりました。

特に大麻取締法で検挙される若い世代が急増。薬物乱用者の低年齢化が進行していることもあり、「大麻は害がない」などの大麻に関する誤った情報を鵜呑みにしやすい若年層への大麻乱用の拡大が懸念されています。

■薬物乱用の生涯経験率の推移



■「こんなのあるよ?」誘われた経験率の推移



新しいタイプの大麻も出現!

最近、大麻を液体状に加工した「大麻リキッド」が、電子たばこ組み合わせで使用されています。従来の乾燥大麻や自生大麻のような独特の臭いがなく、周囲に使用が発覚しにくいことが特徴で、幻覚成分を濃縮した「大麻ワックス」とあわせ大麻加工品の摘発が相次いでおり、大麻乱用の拡大が懸念されます。



■初めて大麻を使用した動機(対象者535人・複数回答)

区分	初回使用時年齢	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	全体
好奇心・興味本位		66.3%	59.2%	43.5%	42.9%	54.9%
その場の雰囲気		18.6%	12.4%	8.7%	7.1%	13.4%
クラブ・音楽イベント等の高揚感		4.9%	8.9%	4.3%	0.0%	6.1%
パーティー感覚		2.7%	2.8%	1.4%	0.0%	2.4%
ストレス発散・現実逃避		2.3%	5.0%	20.3%	42.9%	5.9%
多幸感・陶酔効果を求めて		3.4%	6.4%	14.5%	7.1%	5.9%
その他		1.9%	5.3%	7.2%	0.0%	11.4%

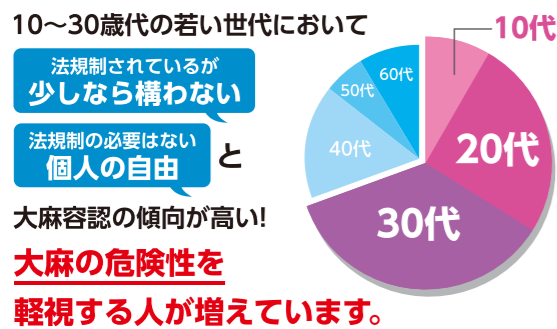
出典：警察庁「平成29年における組織犯罪の情勢」より

若者の検挙者も急増!

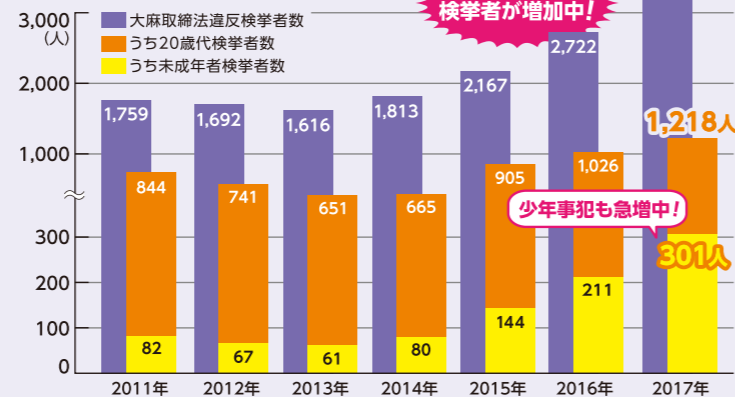
最近の10代を含む若年層の意識調査では大麻が法律で規制されていることに「少しくらいなら構わない」、「個人の自由」と大麻の使用を容認する考えが増えています。

特に「海外では大麻が合法化されているから」という情報は、大麻の安全性を認めたものではありません。なぜ合法化するに至ったのか、それぞれの国の事情・理由と、大麻の持つ有害性や依存性など正しい情報を知り、自分の身を守りましょう。

■大麻が法律で規制されることについての調査では…



■大麻取締法違反検挙人員の推移

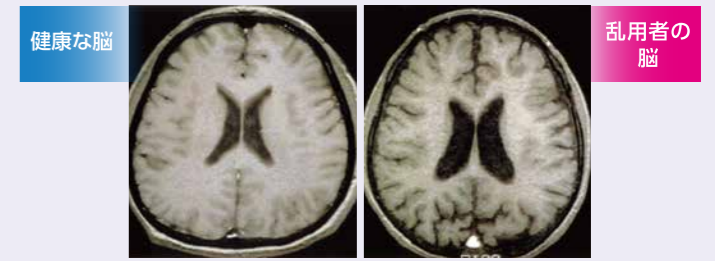


知っておきたい

違法薬物の種類と心身への影響

脳にダメージを与える違法薬物。

脳は、身体全体をコントロールしている人間にはとても大切な器官です。乱用される薬物の成分が脳に取り込まれると、人間の思考や言語を管理している前頭葉の働きを悪くし、その代わりに視覚や聴覚を異常に刺激して幻視、幻聴を引き起こします。また違法薬物は非常に強い依存性を持っていて、一度でも使うと自分ではやめようと思ってもやめられない薬物依存という状態にしてしまいます。



乱用される代表的な薬物

覚醒剤



覚醒剤はアンフェタミン、メタンフェタミン系と呼ばれる精神刺激薬で、中枢神経や交感神経を異常な興奮状態にする作用をもっており非常に強い精神依存を引き起こします。

大麻



大麻は大麻草という植物由来の薬物でこの葉や花穂などを乾燥させたり、樹脂化したりしたものを吸引するもので、幻覚作用や記憶障害、学習能力の低下等をもたらします。

MDMA



MDMAは化学薬品から合成された錠剤型の麻薬で、「エクスタシー」「バツ」などとも呼ばれ、少量でも脳細胞の末端部分を破壊して半永久的な脳機能障害を引き起こします。

危険ドラッグ



危険ドラッグは、既に規制されている従来の大麻や覚醒剤の化学構造を変えたさらに危険な物質が含まれており、呼吸困難や異常行動を起こしたり、死亡に至ることもあります。

インターネットで入手できる危険ドラッグ。

インターネットを通じて危険ドラッグを入手する例も少なくありません。摘発から逃れるために匿名で怪しげな掲示板サイトに、販売情報を書き込んで、顧客を集める密売です。

2017年11月には、危険ドラッグの大規模製造工場が摘発され、インターネットで密売していたグループが検挙されており、注意が必要です。



医薬品は正しい用途・方法で使いましょう。

医師に処方された薬や市販薬を、処方量以上に服用することがきっかけで薬物依存になる例が報告されています。医薬品は処方や調剤された指示に従い、用法容量を守り使用してください。医薬品の譲渡や安易に海外で販売されている薬の使用、購入は副作用を伴う大変危険な行為なので十分注意しましょう。

